

2026年二十歳を祝う会

1月11日、文化会館にて2026年二十歳を祝う会を開催しました。実行委員が一年をかけて企画から運営まで創り上げるこの会。「参加者が心を動かす会にしたい。」実行委員の願いが実現した会となりました。



適(あっぱれ) ～鳴り止まない 青春の鼓動～



二十歳を祝う会実行委員長 山口 嵐士

二十歳を祝う会を多くの方々のご協力とご指導のもと、無事開催することができましたことを、深く感謝申し上げます。

今年のテーマは『^{あっぱれ}適～鳴り止まない 青春の鼓動～』。素晴らしいことや立派なことを表す「適」ですが、それだけでなく、驚きや決意など様々な強い感情を表す言葉でもあります。二十歳を迎える私たちが、決意を固め、未来へ向かう気持ちを高めてほしいという想いをテーマに込めました。

私たち実行委員10名は、「和太鼓演奏」に加え、新たに曲中の「書道パフォーマンス」にも挑戦することにしました。先輩方を超える演奏がしたい、参加者とともに楽しめるものにしたいと思い、3ヶ月間練習を重ねてきました。それぞれの思いや練習量が異

なることもありましたが、今の自分たちがその時でできることを考え、練習に来られない日は家で自主練習に取り組みました。全員で息を合わせて練習する中で、本番に向けて気持ちを高めていき、当日を迎えることができました。

本番前の円陣では、今までお世話になった人に感謝の気持ちを全員で込めて和太鼓を叩こうと声かけしました。幕が上がると、人の多さに驚いて緊張しましたが、一打叩いた瞬間に緊張がほどけて、本番を楽しむことができました。書を掲げた最後の場面では、みんなの歓声が聞こえて、感動的な式にすることができたと実感しました。これまで私たちを支えてくださった全ての人に感謝の思いでいっぱいです。

これからの私たちには、様々な挑戦が待っていると思います。この碧南で過ごした「適」な人生を誇りに思い、いつか誰かに「適」を送れる人になれるように、これからの人生を歩んでいきます。



やさしさのつながり

市子ども会育成連絡協議会 会長 亀山洋光

おうちの人がかかわると、子どももかわるって、きいたことあるかな？

たとえば、おうちの人がいっぱいニコニコして「ありがとう」って言っていたら、子どももまねしてやさしくなるよね。

だけど、いつもイライラして大きな声でおこっていたら、子どももこわくなったり、かなしくなったりするかもしれない。子どもは、おうちの人のことをよく見ているんだ。

だから、おうちの人「がんばってるね」「だいじょうぶだよ」って言うてくれたら、子どもはうれしくなって、もっとがんばろうって思えるよ。

おうちの人がかかわると、子どもの心もぽかぽかして、すこしずつかわっていくんだね。

だから、大人も子どもも、いっしょにやさしくなれたらすてきだね。

「親子キャッチ 575」最優秀作品と表彰式

青少年育成市民会議事業

「親子キャッチ575」の作品募集に、市内の小中学校、高等学校から3,883点の作品が集まりました。

2025年11月2日に行われた市文化祭芸能発表会の中で表彰式を行いました。575に思いを込めて、温かい家族の様子や子どもの成長を喜び様子が伝わってくる作品が多数見られました。



親子キャッチ 575 最優秀作品

さみしいな	しごとにつちゃう	エンジンおん	中央小一年	黒田菜央	父
行ってきます	窓辺の娘に	手を挙げて			
はがぬけた	まえばがいつぽん	たべづらい	中央小二年	鳥居柊介	母
今だけの	歯抜けの笑顔が	愛おしい			
ママがねつ	とくせいおにぎり	作ったよ	日進小三年	杉浦柊斗	母
ありがとう	この味一生	忘れない			
ひいじいが	戦争生きて	ぼくがいる	中央小四年	平手咲也	母
脈々と	続くいのちの	尊さよ			
はいどうぞ	おかしふたつに	はんぶんこ	新川小五年	鈴木善	父
ありがとう	量は減っても	絆増す			
夜ご飯	作りたいから	休んでて	新川小六年	末吉詩織	母
その言葉	言われただけで	胸いっぱい			
ただいまと	言える場所こそ	宝もの	南中一年	岩間成史	父
おかえりと	言える幸せ	今日もまた			
暑すぎて	家から一歩も	出られない	東中二年	石原あかり	母
リビングに	一家集合	暑苦しい			
助かるよ	毎日ご飯	ありがとう	中央中三年	古賀柊哉	母
今日もまた	「うめえ！」の声に	助けられ			
夕飯は	今日の出来事	報告会	碧南工科高等学校	匿名希望	母
反抗期	それでも習慣	変わらない			

碧南市おやじの会

おやじの会の活動は、親子参加型のイベントを工夫し実践することで、親子が触れ合う機会を創出し、地域ぐるみでの子育ての一助を担っています。今年度も様々なイベントを企画・協力しました。

元気ッス！へきなん



「元気ッス！へきなん」に各地区おやじの会が参加しました。中学生ボランティアとともに、射的、水中コイン落とし、水風船つりなどのゲームやクラフト工作、ピザ、フランクフルト販売など、大人も子どもも楽しめるブースを出店しました。

子どものつと



市子ども会育成連絡協議会のイベントである「子どものつと」に協力する形で、「紙飛行機作り」のブース出店と、スタンプラリーの参加者への飲食提供を行いました。子どもたちが保護者の皆さんと楽しそうに館内を回る姿が印象的な行事となりました。

各地区での活動



新川おやじの会による「もちつき大会」や、スマイルクラフトにしばた（西端おやじの会）による「地引網体験」など、親子が触れ合いながら楽しめる行事を各地区で実施しました。